



旅立ちの日に～令和6年度第78回卒業証書授与式～

3月18日(火)、「あおぞら学年」の9名の卒業式が行われました。新たな旅立ちに迎える卒業生に校長から3つのことをお話しました。

「本気になる:ものごとに本気になって取り組んでみる。決して失敗を恐れないで欲しい。」「相談する:生きていく中では自分一人ではどうにもならないこともある。そんなとき誰かに話をすることをためらわないで欲しい。」「センスオブワンダー(※)を磨く:不思議なことに感動したり、驚いたりする感性(ワクワクしたり、嬉しいなと思えたりする気持ち)を失わないで欲しい。これを持ってる人は、人に優しくなれるし、強くなれる。」

※アメリカの海洋生物学者であり、環境保護の大切さを世に知らしめた先鞭であるレイチェル・カーソンは著書「センス・オブ・ワンダー」で次のようなことを述べています。『美しいものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものにふれたときの感激、思いやり、憐れみ、驚嘆や愛情などのさまざまな形の感情がひとたびよびさまされると、次はその対象となるものについてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけた知識は、しっかりと身につきます。』(新潮文庫:センス・オブ・ワンダー レイチェル・カーソン 上遠恵子訳より)

行動力のある「あおぞら学年」9名の未来が輝かしいものとなりますよう、教職員一同、心から祈っています。卒業おめでとうございます。

地域の皆様、保護者の皆様にはいつも温かく子供たちを見守っていただきました。また、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。また、引き続き変わらぬ御支援と御指導を賜りますようお願い申し上げます。



卒業式

谷川俊太郎

ひろげたままじや持ちにくいから
きみはそれをまるめてしまう
まるめただけじゃつまらないから
きみはそれをのぞいてみる
小さな丸い穴のおこう
笑っているいじめっ子
知らんかおの女の子
光っている先生のはげあたま
まわっている春の太陽
そしてそれらのもつとむこう
きみは見る
星雲のようにこんとんとして
しかもまぶしいもの
教科書には決してのつていず
蛍の光で照らしても
窓の雪ですかしてみても
正体をあらわさない
そのくせきみをどこまでも
いざなうもの
卒業証書の望遠鏡でのぞく
きみの未来

卒業にあたって 卒業式での代表の言葉

卒業式で代表の言葉(答辞)を述べてくれた伊藤榛真さんの挨拶文から。

「僕たち、あおぞら学年は、平成最後の三十一年四月に、大曽根小学校に入学しました。この年の五月一日に、元号が平成から令和へ移り変わり、新しい何かが始まるような、わくわくした気持ちだった事を思い出します。

この小学校は、沢山の地域の皆さまに支えられている特別な小学校だと思います。

沢山のふれあいの中で、素晴らしい体験や経験をさせていただきました。おかげで、ここ大曽根の事を、よく知ることができ、自分のふる里が大好きになりました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

六年間、お世話になった先生方には、多くの事を教えていただきました。勉強への取り組み方、仲間と協力して成しとげる事の大切さなど、沢山の「学ぶ心」を育てていただきました。

いつも僕たちを、あたたかく見守り、時にきびしく接しながら根気強く育ててくれた、お父さん、お母さん。毎日、仕事や家事で大変なのに、沢山の愛で支えてくれて本当にありがとうございます。僕たちは、まだまだ子供で、これからも、お父さん、お母さんの支えが必要です。それでも、少しずつ僕たちが支える側になれるように頑張っていきます。



4月の主な予定

4/7 (月)	1学期始業式 新任式
4/8 (火)	入学式(新入生3名)
4/9 (水)	弁当日(新2~6年)
10 (木)	
4/11 (金)	給食開始(新2~6年)
4/14 (月)	1年生給食スタート 一斉下校・下校安全指導
4/17 (木)	6年全国学力・学習状況調査 PTA 幹事会・学年委員会評議員会
4/26 (土)	授業参観・PTA 総会
4/28 (月)	振り替え休業日

お世話になりました

～令和6年度転出者～

令和6年度の人事異動により、4名の教職員が離任することとなりました。本校在任中は、地域の皆様、保護者の皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。

【令和6年度 離任する教職員】

校長 土井 正路	山形九中へ
高木 千鶴 先生	ご退職
青木亜紗美 先生	鈴川小へ
鈴木恵里子 先生	千歳小へ
加藤智恵美先生(特別支援指導員)	村木沢小へ
田中 滋 先生(技能技師)	蔵王二小へ

